

大きな愛で人にやさしい

2026年 3月
 ナンバー68号
 帯広市議会議員
 大 林 愛 慶
 おおほやし やすよし
 後援会ニュース



「新春のつどい」でのあいさつ

第1回帯広市議会定例会が、2月26日から3月23日までの期間で開催され、2026年度の当初予算を審議しています。

一般会計「1020億円」と過去最大の規模となりました。

物価高騰の支援「水道料金基本料金免除10ヵ月」「小学生給食費の無償化」「中学生給食費支援」

「住民税非課税・均等割世帯への給付」など実施する内容です。

石川かおり街頭大演説会



2026年度（R8）帯広市 各会計予算案

会計名	予算額
一般会計	1,020億 6,100万円
国民健康保険会計	153億 7,400万円
後期高齢者医療会計	36億 1,600万円
介護保険会計	172億 5,800万円
中島霊園事業会計	4,400万円
ばんえい競馬会計	555億 4,900万円
駐車場事業会計	2,500万円
上下水道会計	153億 3,900万円
総合計	2,092億 6,700万円

「新春のつどい」には多くの方に参加いただきました



石川かおり氏

当選ならず

応援ありがとうございます

ございました。

予算審査特別委員会の質疑

帯広市役所庁舎の長寿命化の整備に、3億5512万円が計上され、3年間の計画で庁舎高層棟の外壁や屋上防水改修工事が行われます。

今回「公マネ基金」が繰入され、今後の公マネ基金の活用に際して活用基準の考えを質しました。

コミセン施設等の一部無人化のための計画内容など質疑しました。

コミセン10施設については、「午前・午後・夜間」の管理人の配置をするものの、福祉センターでは「3つのパターン」(①午前・午後・夜間の管理人配置)(②午前・午後のみ管理人配置)(③午前のみ管理人配置)で検討しているとの考えです。

大空会館は①のパターンを予定しています。

また、「住込み管理」が無くなることへの「雇用や賃金」のあり方について質しました。

あわせて、福祉センターに設置されている「AED」の使用支障が発生しないか確認いたしました。

厚生委員会の 質疑報告

新型インフルエンザ対策行動計画の改定

改定の特徴は、対策実施上の時期区分を「準備期・初動期・対応期」とし、柔軟で機動的な対策を行う、平時の備えの強化にあります。

私からは、新型コロナ感染の「ワクチン接種の混乱」「高齢者施設や介護施設」での発生時の医療処置ができなかった問題など指摘いたしました。北海道の対応が中心となり行うことは理解していますが、市内にも多くの高齢者施設があり、平時からの施設事業者との連携強化を要望しました。

大林やすよし後援会は 米沢のりひさ氏を 推薦決定!!

4期16年、果敢に市政の舵取りを進め十勝定住自立圏共生ビジョンを取組む中で、1市18町村との連携強化を進めた「米沢のりひさ市長」。いち早く、小中学校の耐震化、

高齢者おでかけサポートバス、子ども医療費補助の拡大、とかち広域消防設置、新給食調理場建設、20年間空きビルの西3・9再開発、スマート・AI農業の推進、総合計画・総合戦略など着実に進めてきました。

今、少子化・人口減少、物価高騰など大きな社会問題に対応・適応していかななくてはなりません。



新春のつどい参加いただき
ごあいさつをいただきました

4月12日は帯広市長選挙の 投票日です。

